



総合患者サポートセンターでの周術期の休薬確認の追加について ～ SGLT2阻害薬メトホルミン製剤の術前休薬について～

これまで患者サポートセンターでは、周術期の抗血栓薬およびホルモン製剤について休薬確認を行ってきました。

このたび、**8月21日よりSGLT2阻害薬、メトホルミン製剤の休薬確認を追加します。**

<周術期に確認が必要な薬剤>

- 抗血栓薬
- 女性ホルモン薬
- VEGF阻害薬
- ステロイド薬
- **糖尿病薬（SGLT2阻害薬、メトホルミンを含む製剤）**

日本糖尿病学会から周術期の休薬が推奨されており、全身麻酔予定の患者に対して、休薬を開始します。

SGLT2阻害薬

- ケトアシドーシスのリスクが上昇するため、手術が予定されている場合には、**術前3日前から休薬し、食事が十分摂取できるようになってから再開する**
- 糖尿病を合併しない心不全患者に使用されているジャディアンス、フォシーガは、術前の終日絶食日にSGLT2阻害薬を休薬し、術後は食事摂取が可能になってから再開する

<SGLT2阻害薬の一覧>

アプルウェイ錠、カナグル錠、カナリア配合錠、ジャディアンス錠*、スーグラ錠、スージャヌ配合錠、デベルザ錠、トラディアンス配合錠、フォシーガ錠*、ルセフィODフィルム錠

*心不全にも適応あり

メトホルミン製剤(ビグアナイド薬を含む製剤)

乳酸アシドーシスのリスクが上昇するため、**原則としてCre1.5以上の患者では、手術当日及び手術前後2日間を休薬**

<メトホルミン製剤の一覧>

メトグルコ錠、メトホルミン錠、ジベトス錠、ブホルミン錠、メトアナ配合錠、イニシンク配合錠、エクメット配合錠、メタクト配合錠

※ヨード造影剤を使用する検査の際はこれまで通りCre1.0以上を基準値として確認を行います。

【患者サポートセンター】

- 休薬薬剤の確認
- 患者への休薬指導
- **持参薬・休薬内容をカルテに記載（付箋：持参薬）**
- **患者掲示板にも休薬内容を記載**

【病棟】

- 入院時/手術前：**休薬状況を確認**
- 手術後：**休薬薬剤の再開確認**

